

# エコチル調査の広報及び対話事業について



# 令和4年度の広報活動

【目的】 調査対象者や医療機関・研究者に加えて、広く一般の方々にエコチル調査を理解してもらい、調査参加者に長期にわたる追跡調査に継続して参加してもらえるような意識を醸成すること及び調査成果の正確な情報発信・社会還元を図る。

## 出産・子育てに関する情報メディアとのタイアップ

- 「たまひよ」のWEBサイトに、エコチル調査の取組や調査成果を紹介したタイアップ記事3本を掲載  
※48,644ページビュー(11月7日～12月19日)



出典: <https://st.benesse.ne.jp/ninshin/content/?id=143150>  
不許転載(2次利用はご遠慮ください)



出典: <https://st.benesse.ne.jp/ninshin/content/?id=144301>  
不許転載(2次利用はご遠慮ください)



出典: <https://st.benesse.ne.jp/ninshin/content/?id=142360>  
不許転載(2次利用はご遠慮ください)

## 大人も子どもも楽しめるシンポジウムの実施(オンライン開催)

- 第12回エコチル調査シンポジウム開催(2月19日(日)ライブ配信)  
※当日視聴回数689(最大同時接続数238)  
3月1日時点の視聴回数1,307

## 広報戦略指針等改定案の作成

- 現行の「広報戦略指針」及び「広報戦略」(平成30年度(平成31年3月))を基に調査の進捗に併せて改定(案)の作成

## 過年度より継続の活動

- エコチル調査ホームページ
  - ・ 成果発表一覧(和文抄録の掲載)を随時更新
  - ・ 中心仮説に係る論文のプレスリリースを新着情報として掲載
  - ・ 対話事業の成果物を掲載
  - ・ アクセス数の集計
- メールマガジンの配信
- 親子向け展示物の貸出し
- 報道等のモニタリング及び分析
- 認知度調査(今年度内実施予定)
  - ・ 一般国民対象
  - ・ 医師対象

# 令和4年度 エコチル調査に係る「地域の子育て世代との対話」

## 【目的】

子育てに関わる関係者が化学物質のリスクやその受け止め方等について対話し、いわゆるリスクコミュニケーションを行うことにより、化学物質のリスクについて上手に向き合うことが可能となる社会を目指す。

### (1) 地域における対話の実践例の創出

- 地域での**双方向性の対話**の実践を通じ、子育て世代等と化学物質のリスクとの上手な向き合い方の実践活動を促進。

### (2) 好事例集の作成

- 効果的な地域対話の取組の横展開に資する**事例集**をまとめる。

### (3) 対話事業に関する研修手法の開発

- ユニットセンター担当者に対する**リスクコミュニケーション研修**の開催。

## ■ 今年度実施の地域対話

日程	場所	主な対象 (人数)	講師等 (敬称略)
12/17 (水)	新潟 大学 大学院	大学院生 (19名)	堀口逸子(東京理科大) 岩井美幸(国立環境研究所)
2/4 (土)	高知	保健・ 教育関係 者、大学 院生 (26名)	吉川清志 (土佐希望の家医療福祉センター長) 山崎慶子 (高知ユニットセンター)
3/2 (木) (予定)	東京	教育 関係者 (予定)	山縣然太郎 (エコチル調査甲信ユニットセンター) 山本貴和子 (国立成育医療研究センター) (予定)

※東京以外はハイブリッドで実施

## 成果紹介パンフレット

## (周知用チラシ)

## 教育関係者向けテキスト

## 効果的な対話の実践に向けた事例集